

2023年3月期 決算説明会 ー決算概要ー

2023年5月12日

JCRファーマ株式会社

【証券コード】4552

【問合せ先】管理本部 広報・IR室 小山（TEL 0797-32-1995）

契約金収入およびAZD1222原液製造の減収により 減収減益

通期実績
(2023年3月期)

売上高	: 34,343百万円 (前期比 \triangle 32.8%)
営業利益	: 4,975百万円 (前期比 \triangle 75.0%)
経常利益	: 5,418百万円 (前期比 \triangle 73.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	: 3,772百万円 (前期比 \triangle 74.0%)

- 主力製品：イズカーゴ[®]は前期比で増加したものの、グロウジェクト[®]ならびに腎性貧血治療薬は薬価改定の影響を受け前期比から減収となった。
- 販売・一般管理費は社員数の増加により人件費は増加しているものの、各コスト削減の積み上げの結果、前期比で減少。一方、研究開発費は順調に進捗していることにより前期比で増加となった。

連結	2022年3月期 A	2023年3月期		参考
		B	前期比 (B-A)/A	予想 (修正後)
売上高	51,082	34,343	△32.8%	34,200
売上原価	10,461	8,886	△15.1%	—
売上総利益	40,620	25,456	△37.3%	—
販売・一般管理費	13,511	11,678	△13.6%	11,500
研究開発費	7,175	8,802	+22.7%	8,900
営業利益	19,933	4,975	△75.0%	5,000
経常利益	20,512	5,418	△73.6%	5,200
親会社株主に帰属する 四半期 / 当期純利益	14,507	3,772	△74.0%	3,800

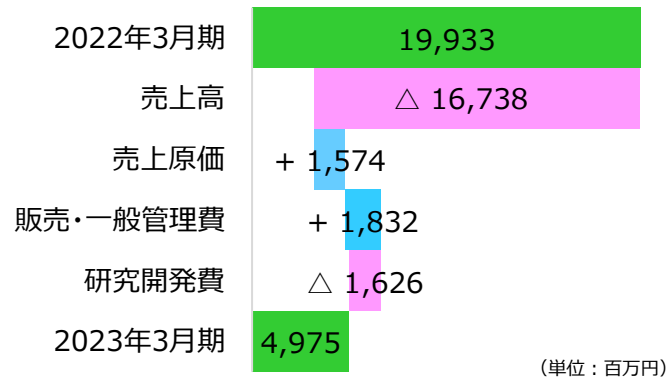
対売上高	売上原価率	20.5%	25.9%	+5.4%
	研究開発費率	14.0%	25.6%	+11.6%
	営業利益率	39.0%	14.5%	△24.5%

(ご参考)

共同開発先による負担控除前の 研究開発費	7,671	9,480	+23.6%	—
-------------------------	-------	--------------	---------------	---

◆営業利益 4,975百万円

対前期△14,958百万円



主な増減要因（前年同期比）

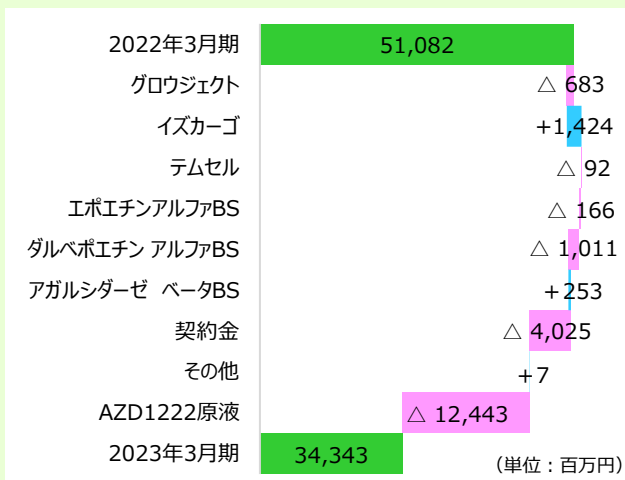
- 契約金収入減少・AZD1222原液製造の終了による売上高の減少 △16,738百万円
- 売上高減少に伴う売上原価の減少 +1,574百万円
- コスト削減の積み上げによる販売・一般管理費の改善 +1,832百万円
- 研究開発への積極的な投資 △1,626百万円

売上高内訳 (連結)

(単位：百万円)

◆売上高 34,343百万円

対前期△16,738百万円



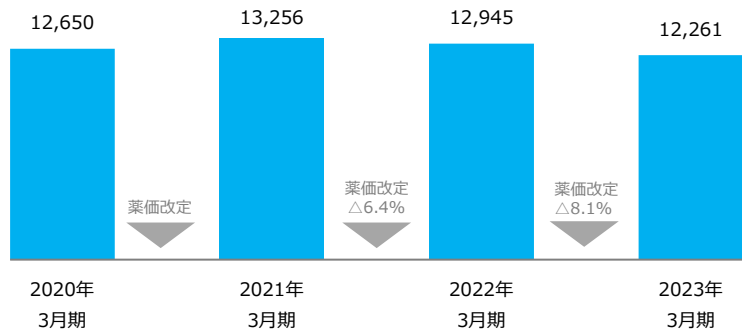
主な増減要因 (前年同期比)

- グロウジェクト薬価改定 (△8.1%)
△683百万円
- イズカーゴ 17例への処方開始
+1,424百万円
- ダルベポエチン薬価改定 (△12.3%) に対するキッセイ薬品工業との販売価格調整など
△1,011百万円
- 契約金収入 契約交渉の期ずれなど
△4,025百万円
- AZD1222原液製造の予定通りの終了
△12,443百万円

品目	2022年3月期		2023年3月期			参考 予想 (修正後)
		構成比		構成比	前期比	
グロウジェクト®	12,945	25.3%	12,261	35.7%	△5.3%	12,000
イズカーゴ®	3,003	5.9%	4,428	12.9%	+47.4%	4,500
腎性貧血治療薬	5,875	11.5%	4,696	13.7%	△20.1%	4,750
エポエチンアルファBS注「JCR」	2,876	5.6%	2,710	7.9%	△5.8%	2,650
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	2,998	5.9%	1,986	5.8%	△33.7%	2,100
テムセル®HS注	3,497	6.9%	3,404	9.9%	△2.7%	3,400
アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」	711	1.4%	964	2.8%	+35.6%	1,000
医薬品等合計	26,032	51.0%	25,755	75.0%	△1.1%	25,650
契約金収入	10,571	20.7%	6,546	19.1%	△38.1%	6,500
その他	102	0.2%	109	0.3%	+7.3%	120
AZD1222原液製造	14,375	28.1%	1,931	5.6%	△86.6%	1,930
売上高合計	51,082	100.0%	34,343	100.0%	△32.8%	34,200

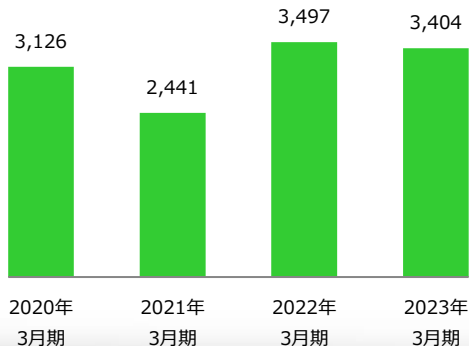
各製品別売上高推移 (単位：百万円)

遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤
グロウジェクト®

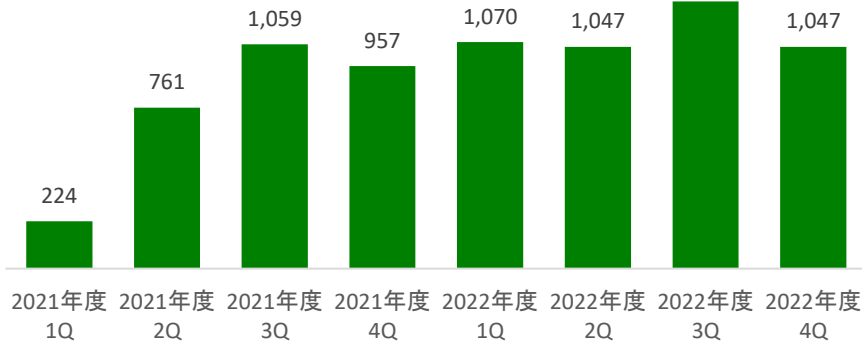


※10月薬価改定

ヒト体性幹細胞加工製品
ヒト(同種)骨髄由来間葉系幹細胞
テムセル®HS注



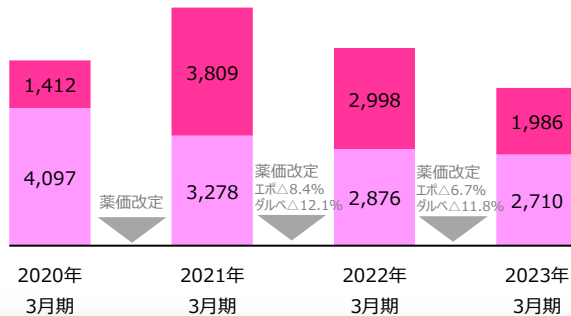
遺伝子組換えムコ多糖症II型酵素製剤
イスカーゴ®点滴静注用10mg



遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤
エポエチンアルファBS注「JCR」

持続型赤血球造血刺激因子製剤

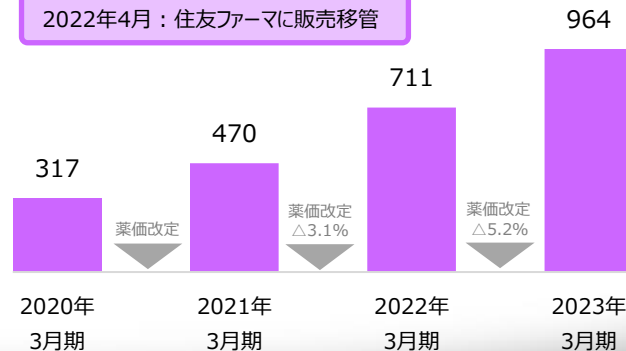
ダルベポエチン アルファBS注「JCR」



※10月薬価改定

遺伝子組換えファブリー病治療剤
アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」

2022年4月：住友ファーマに販売移管



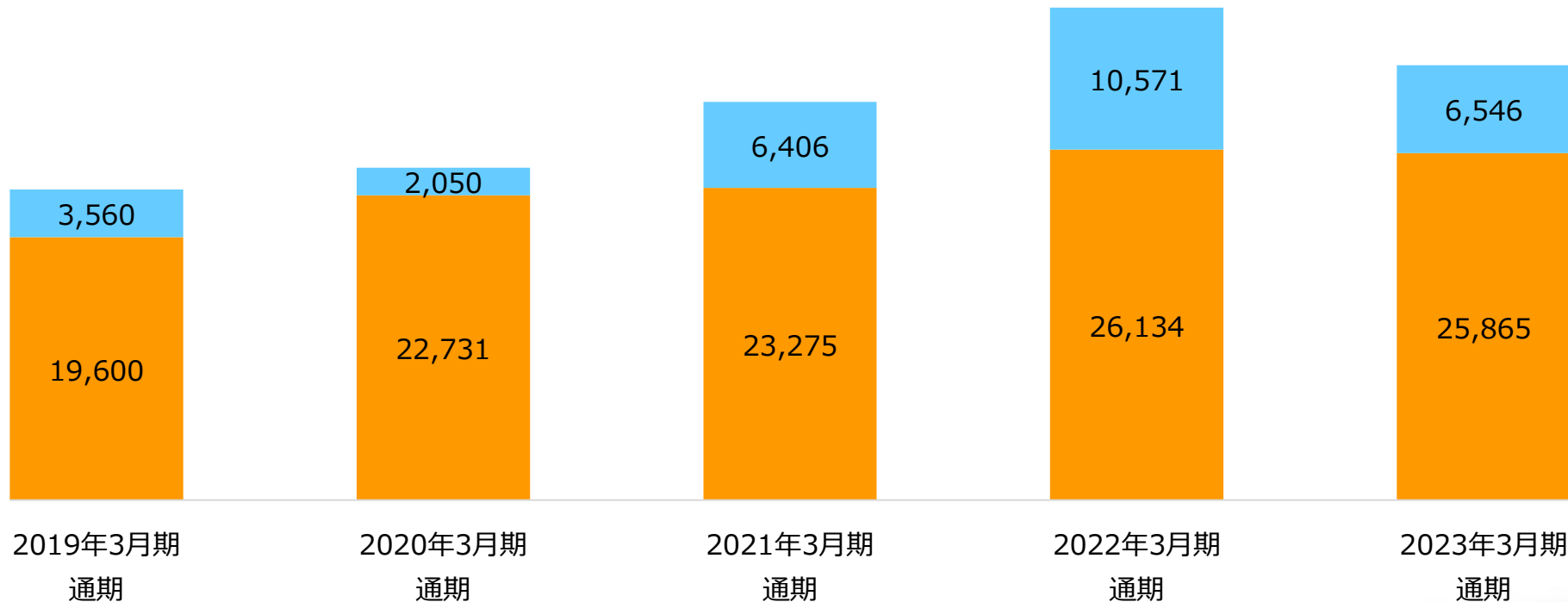
※10月薬価改定

売上高推移（AZD1222原液を除く）

（単位：百万円）

■ 製商品*売上高 ■ 契約金

*製商品：グロウジェクト、イズカーゴ、腎性貧血治療薬、テムセル、アガルシダーゼベータBS注「JCR」、その他



財務状態 (連結)

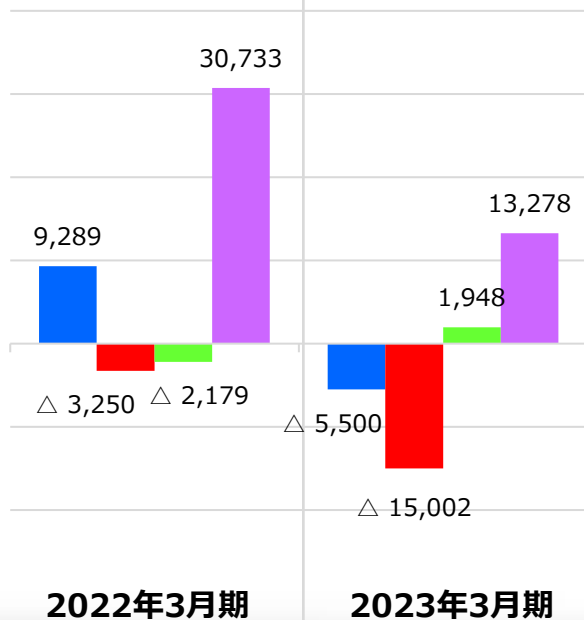
(単位：百万円)

	2022年 3月末	2023年 3月末	増減 ・主な増減項目		2022年 3月末	2023年 3月末	増減 ・主な増減項目
流動資産	62,188	47,802	計 △ 14,385 ・現預金 △17,454 ・売掛金 △ 4,448 ・たな卸資産 + 3,854	流動負債	42,054	35,762	計 △ 6,292 ・未払法人税等 △ 5,881 ・短期借入金 + 1,650
				固定負債	3,990	6,761	計 + 2,770 ・長期借入金 + 3,050
固定資産	34,946	47,135	計 + 12,188 ・有形固定資産 + 5,898 ・関係会社株式 + 6,710	負債合計	46,045	42,523	△ 3,521
				純資産 合計	51,089	52,413	計 + 1,324 ・配当金 △ 2,740 ・利益計上 + 3,772
合計	97,134	94,937	△ 2,196	合計	97,134	94,937	△ 2,196

自己資本 比	51.8%	54.2%
-----------	-------	-------

キャッシュ・フロー（連結）

- 営業活動によるCF
- 投資活動によるCF
- 財務活動によるCF
- 期末 現金及び現金同等物



(単位：百万円)	2022年3月期 A	2023年3月期 B	増減 B-A
税金等調整前純利益	19,404	5,412	△13,991
減価償却費	1,945	1,997	+52
売上債権・未収入金（△増加）	△ 7,501	3,269	+10,771
棚卸資産（△増加）	△ 1,082	△ 3,877	△ 2,795
仕入債務・未払金（+増加）	1,424	△ 2,162	△ 3,587
法人税等支払	△2,517	△ 8,279	△ 5,761
その他	△ 2,362	△ 1,859	+523
営業活動によるCF	9,289	△ 5,500	△ 14,789
関係会社株式取得	—	△ 6,717	△ 6,717
設備投資	△ 11,333	△ 8,560	+2,773
その他	8,083	275	△ 7,808
投資活動によるCF	△ 3,250	△ 15,002	△ 11,752
借入金	—	4,700	+4,700
配当金・自己株式	△ 2,158	△ 2,729	△ 570
その他	△ 20	△ 22	△ 2
財務活動によるCF	△ 2,179	1,948	+4,127
現金及び現金同等物の増減額	4,472	△ 17,454	△ 21,927
期末現金及び現金同等物	30,733	13,278	△17,454

【ご参考】

減価償却費	1,945	1,997
設備投資（助成金控除後）	4,472	4,330

業績予想 (2024年3月期)

売上高	: 36,900百万円 (前期比 + 7.4%)
営業利益	: 5,600百万円 (前期比 +12.5%)
経常利益	: 5,200百万円 (前期比 Δ 4.0%)
<small>親会社株主に帰属する</small> 当期純利益	: 3,800百万円 (前期比 + 0.7%)

- 主力製品売上高の堅調な維持および、確実な契約交渉見込みにおいて、堅実な増収を目指す。
 - ・ イズカーゴ[®]は今期より住友ファーマ株式会社と共同プロモーションを開始。
 - ・ グロウジェクト[®]は少子化による市場縮小傾向および薬価改定 (Δ 5.1%) の影響を織り込む。今期からSHOX異常症に対する適応拡大が期待されるが、患者数から売上高への影響は大きくないと予想。
 - ・ 腎性貧血治療薬は出荷量は増加し、増収を見込む。
 - ・ ライセンス事業への積極的な取り組みを継続し、契約金収入8,100百万円を見込む。
- 販売・一般管理費は引き続き前期比減を見込む一方で、グローバル臨床試験の進捗を受けて研究開発費のさらなる前期比増加を見込む。
 - ・ 販売・一般管理費 Δ 3.2%
 - ・ 研究開発費 +10.2%

(単位：百万円)

連結	2023年3月期 A	2024年3月期(予) B	増減 B - A	増減率 (B-A)/A
売上高	34,343	36,900	+ 2,556	+ 7.4%
売上原価	8,886	10,300	+ 1,413	+15.9%
売上総利益	25,456	26,600	+ 1,143	+ 4.5%
販売・一般管理費	11,678	11,300	△ 378	△ 3.2%
研究開発費	8,802	9,700	+ 897	+10.2%
営業利益	4,975	5,600	+ 624	+12.5%
経常利益	5,418	5,200	△ 218	△ 4.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,772	3,800	+ 27	+ 0.7%

対売上高	売上原価率	25.9%	27.9%	+ 2.0%
	研究開発費率	25.6%	26.3%	+ 0.7%
	営業利益率	14.5%	15.2%	+ 0.7%

(ご参考)

共同開発先による負担控除前の 研究開発費	9,480	11,700	+ 2,219	+ 23.4%
-------------------------	-------	--------	---------	---------

補足説明（前年同期比）

営業利益への影響

- 売上高の増加
+ 2,556百万円
 - 主に腎性貧血治療薬の販売数量増加などに伴う売上原価の増加
△1,413百万円
 - 研究開発費の増加
△897百万円
 - 人件費増加の一方で、各コスト削減積み上げによる販売一般管理費の減少
+ 378百万円
- ⇒ 営業利益 + 624百万円

経常利益への影響

- 昨年、第三者割当増資の引受を実施した台湾Mycenax社に関する持分法投資損失の計上
- ⇒ 経常利益 △218百万円

当期純利益への影響

- 税額控除等による税負担率の減少
- ⇒ 当期純利益 + 27百万円

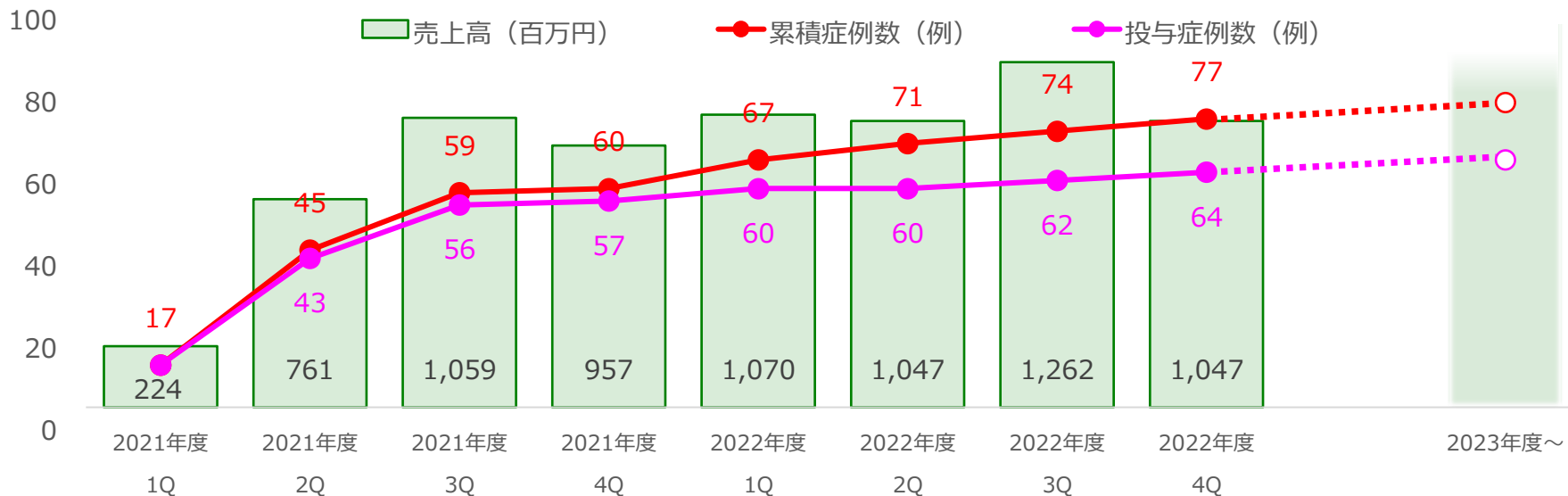
2024年3月期 予想 (内訳)

(単位：百万円)

品目	2023年3月期		2024年3月期 (予)		増減 (B-A)
	A	構成比	B	構成比	
グロウジェクト®	12,261	35.7%	10,900	29.5%	△1,361
イズカーゴ®	4,428	12.9%	5,200	14.1%	+771
腎性貧血治療薬	4,696	13.7%	5,400	14.6%	+703
エポエチンアルファ BS注「JCR」	2,710	7.9%	2,600	7.0%	△110
ダルベポエチンアルファ BS注「JCR」	1,986	5.8%	2,800	7.6%	+813
テムセル® HS注	3,404	9.9%	3,100	8.4%	△304
アガルシダーゼ ベータ BS点滴静注「JCR」	964	2.8%	1,600	4.3%	+635
医薬品等合計	25,755	75.0%	26,200	71.0%	+444
契約金収入	6,546	19.1%	8,100	22.0%	+1,553
その他	109	0.3%	2,600*	7.0%	+2,490
AZD1222原液製造	1,931	5.6%	—	—	△1,931
売上高合計	34,343	100.0%	36,900	100.0%	+2,556

※製造受託など

イズカーゴ[®]処方状況について



患者さん一人ひとりの背景に向き合い、治療を支える医療従事者に寄り添った営業体制を構築

- ① 製品化別MRへの体制変更。イズカーゴ専任MRは全国で8名。
- ② 住友ファーマ株式会社とのコ・プロモーションの開始（2023年4月24日～）。

⇒ライソゾーム病領域に対するアプローチ力・情報収集力を強化

⇒住友ファーマ社が長年培ってきたライソゾーム病領域における経験・知識と、イズカーゴの製品力による相乗効果

注意事項

本資料中の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知ください。

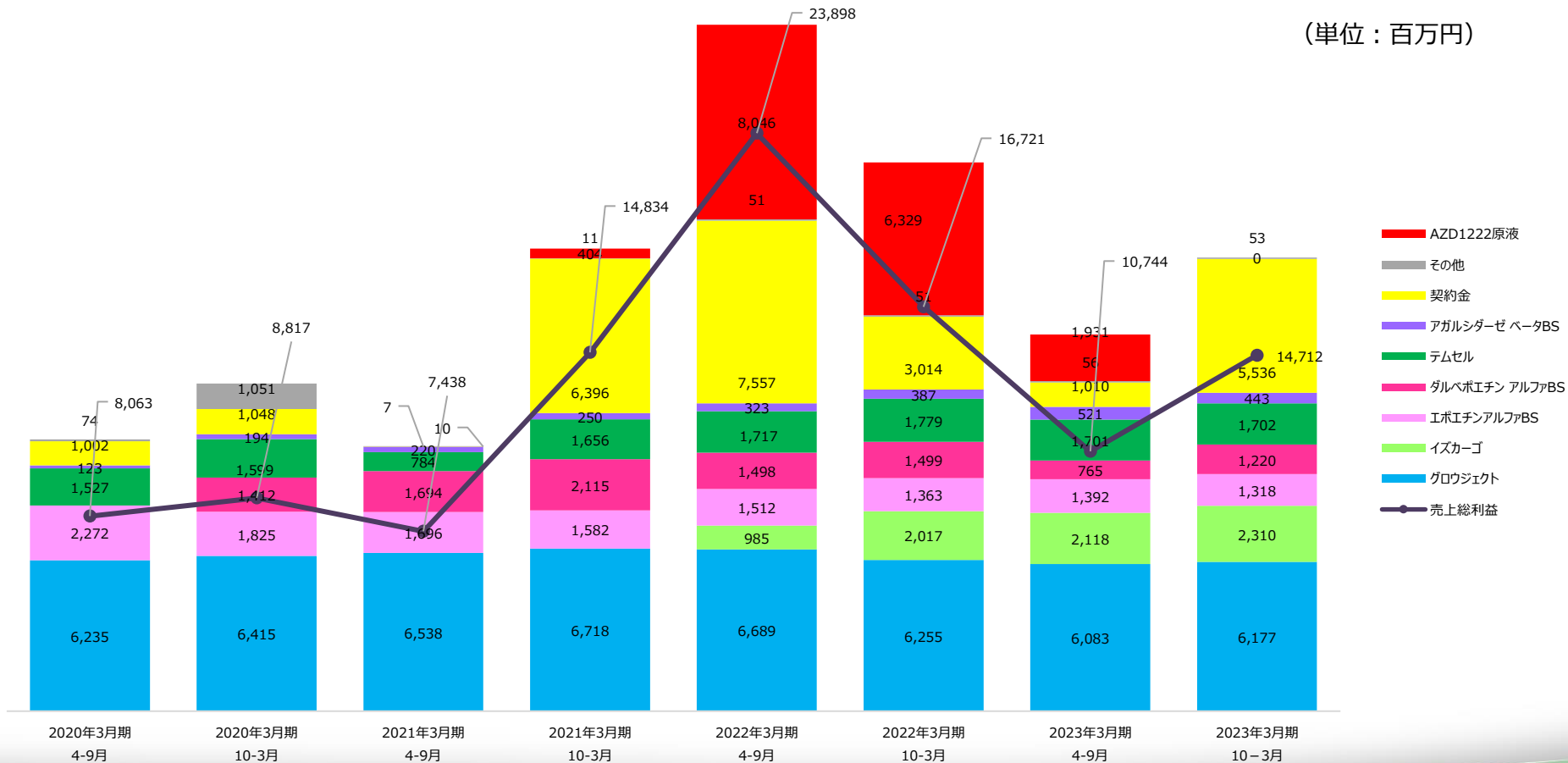
また、本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。



– JCR Biotech for a New Tomorrow –

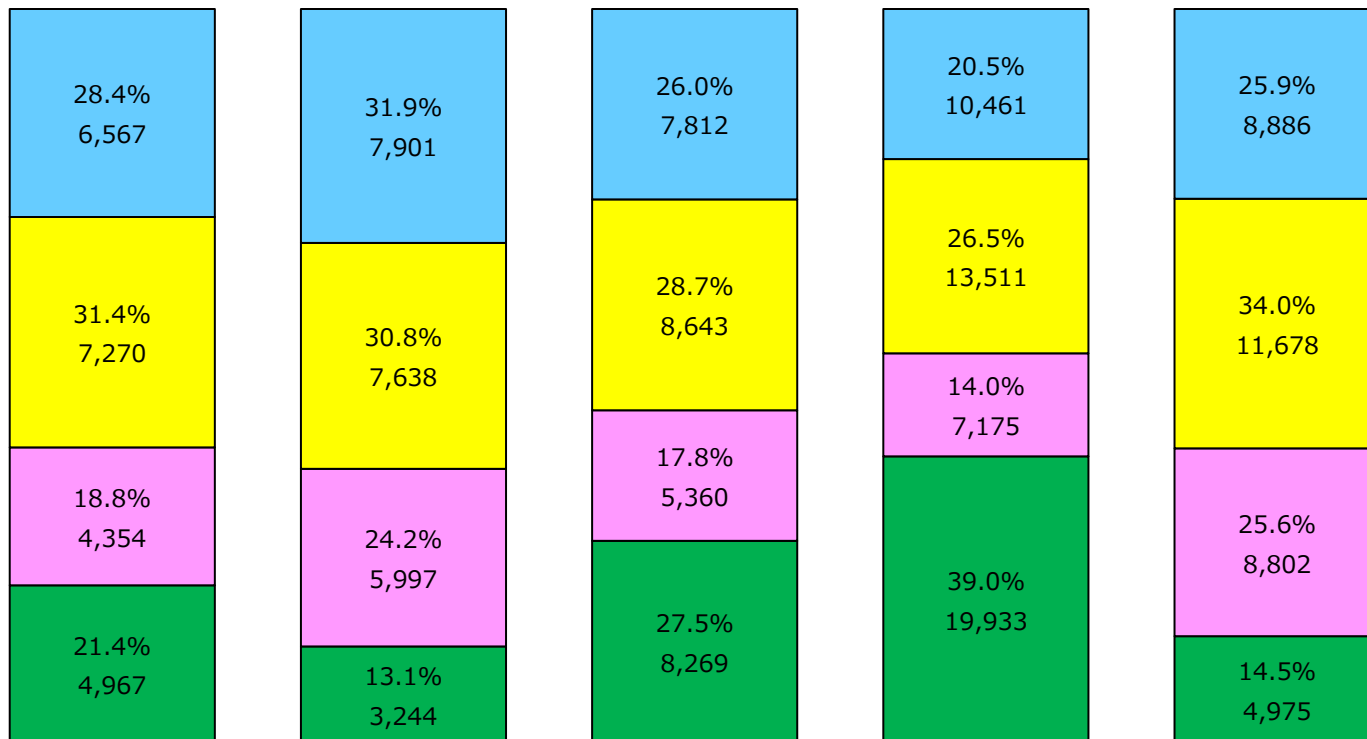
参考：累計売上高内訳（連結）推移

(単位：百万円)



参考：原価・経費の構成比 推移

■ 営業利益 ■ 研究開発費 ■ 販売費・一般管理費 ■ 売上原価



上段数値 (%)
対売上高比率
下段数値 (百万円)
金額

2019年3月期

2020年3月期

2021年3月期

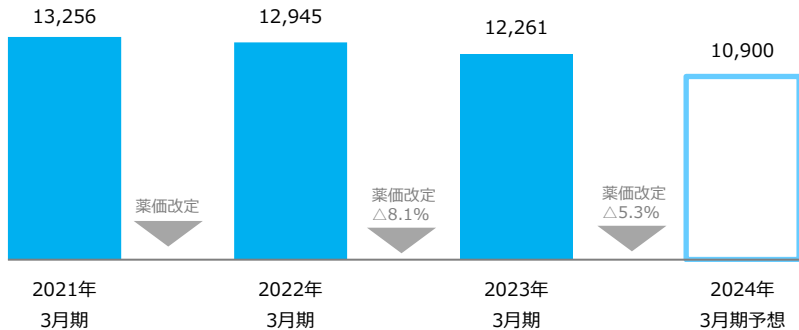
2022年3月期

2023年3月期

参考：各製品別売上高推移 予想

(単位：百万円)

遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤
グロウジェクト®

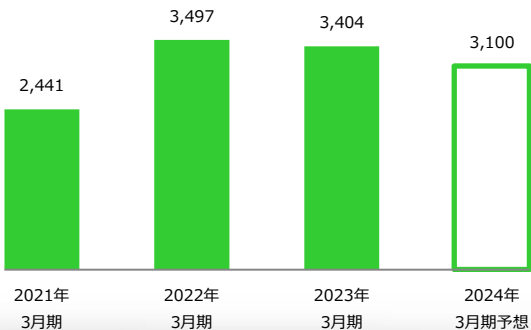


遺伝子組換えムコ多糖症II型酵素製剤
イズカーゴ®点滴静注用10mg

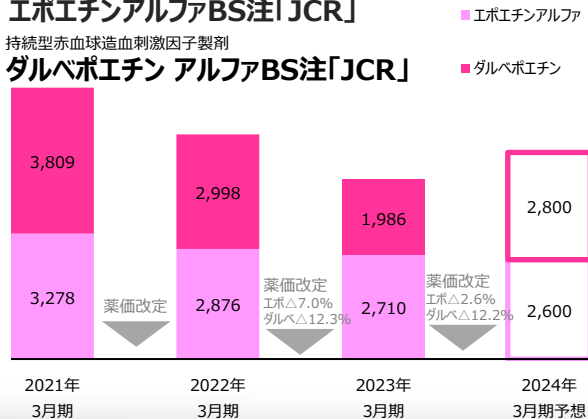
2023年4月24日～：住友ファーマと共同プロモーション



ヒト体性幹細胞加工製品
ヒト(同種)骨髄由来間葉系幹細胞
テムセル®HS注



遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤
エポエチンアルファBS注「JCR」
持続型赤血球造血刺激因子製剤
ダルベポエチン アルファBS注「JCR」



遺伝子組換えアプリー病治療剤
アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」

2022年4月：住友ファーマに販売移管

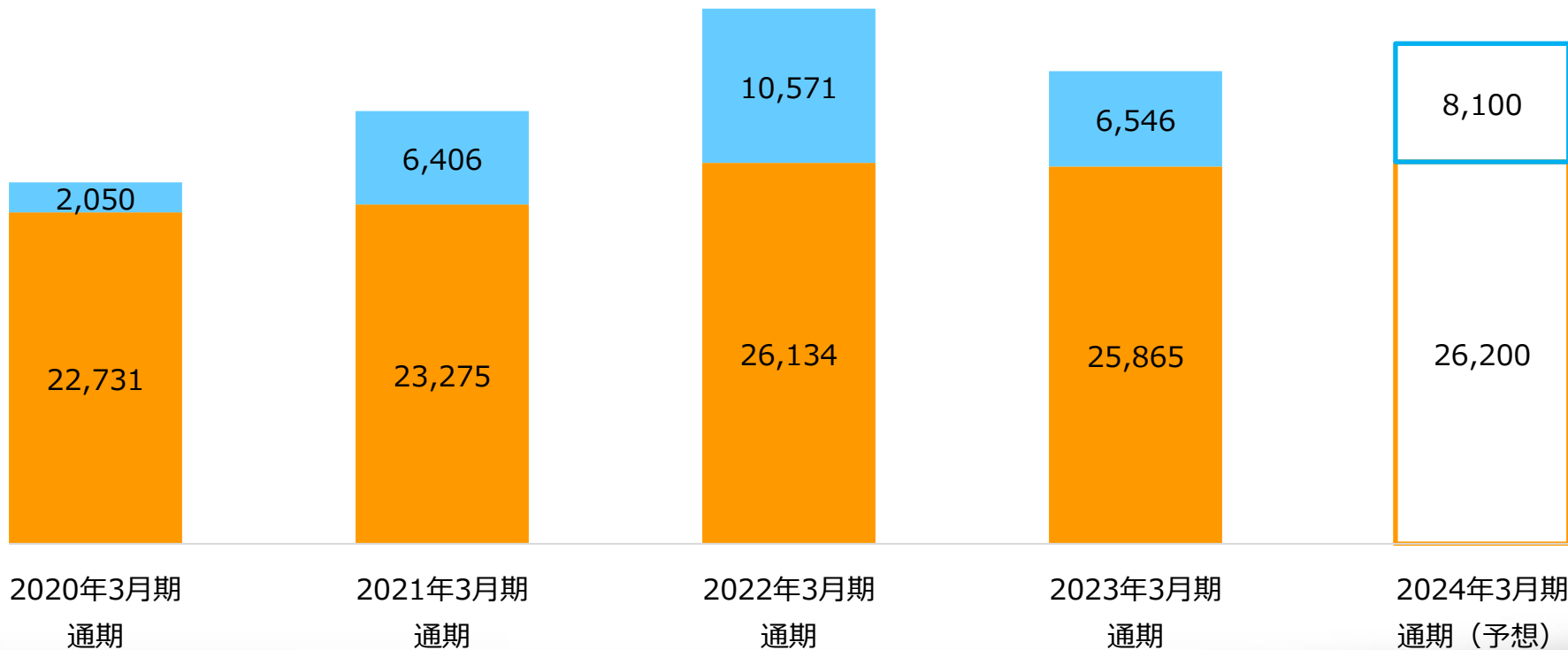


参考：売上高推移 予想（AZD1222原液を除く）

■ 製商品*売上高 ■ 契約金

(単位：百万円)

*製商品：グロウジエクト、イズカーゴ、腎性貧血治療薬、テムセル、アガルシダーゼベータBS注「JCR」、その他



参考：研究開発費（負担控除前）と主な研究開発品目の進捗状況

(単位：百万円)
11,700

- プロセス開発・非臨床
- 臨床
- ★ 承認申請
- 承認取得



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
JR-141(日本)		★	○		
JR-141(ブラジル)		★		2022.8 非承認	
JR-141(グローバル)					
JR-171(グローバル)					
JR-162					
JR-441					
JR-443					
JR-446					
JR-479					
JR-471					
JR-401X				★	
JR-142					
JR-031HIE					
JTR-161/JR-161				2022.4 共同開発終了	